

JAからのおたより

私たちは TPP に
日本が参加することに断固反対します



ごとう

GOTO AGRICULTURAL CO-OPERATIVES



2012
国際協同組合年



8月号

JA ごとう

2012 No.78

第10回
全国和牛能力共進会
長崎県大会

2012年
10月25日(土) ▶ 29日(月)



TOP
NEWS!!

全国和牛能力共進会
長崎県大会
長崎県代表牛選考会 結果

CONTENTS 目次



- 2p
・ CONTENTS
・ 表紙 PHOTO 紹介
・ 平成24年度 第3回理事会（平成24年6月27日 開催）
・ 支店の話題
- 3p
太陽と緑 五島がうまいの立役者
- 4p
TOP NEWS
・ 全国和牛能力共進会 県代表牛選考会 結果
・ 代表牛出品者4名にインタビュー
・ 五島肉用牛大学のお知らせ
- 6p
今月のスポット
- 8p
各種出荷反省会レポート
- 9p
平成24年度 JA ちゃぐりんフェスタ
- 10p
・ 産直市場 **五島がうまい**・直送便
・ お盆期間中の営業について
- 12p
・ 人事異動のお知らせ
・ 新任 LA 職員紹介
- 13p
・ 知っておきたい熱中症対策
- 14p
・ 旅行センターからのお知らせ
・ 産直市場 **五島がうまい**・
・ (株)JA ごとう葬祭 浄倫会館
・ 編集後記



上段左から順に

- ・ ゴーヤ収穫（7月9日）
- ・ 全共長崎県代表牛選考会（7月7日）
- ・ 岐宿中学校ルビートマト学習会（7月3日）
- ・ 崎山支店カボチャ展示（7月4日）
- ・ 平成24年7月期せり市（7月13日）
- ・ 高菜まんじゅう好評販売中（7月3日）
- ・ ちゃぐりんフェスタ（7月22日）

可愛らしい 小鳥の正体は？



さんの家を訪れた際、玄関先に飾ってあるこのカボチャを発見。牟田さんは「収穫の時に葉をめぐったらこのカボチャが姿を現した。窓口に展示してもらい、支店を訪れた人の目を楽しませてもらえれば」と語ったそうです。

同支店営農課職員は「形もサイズも本物の小鳥のようなカボチャで、本当に驚いた。目を書き加えたことで愛らしくなり、来店された組合員さんも一様に喜んでいられるようだ。今後、こうした作物を接点に同支店を身近に感じてもらえれば」と話しました。

（日本農業新聞七月十日掲載）

JA ごとう 崎山支店では、鳥のような形の可愛らしいカボチャが来店した組合員の目を楽しませています。

全長およそ十五センチ、重量が三〇〇グラムのこのカボチャは、エビスカボチャと呼ばれる品種で、同支店管内の牟田久弥さんが栽培したものです。

支店担当者が牟田

1、報告事項
報告№1 役員視察研修について

2、議案事項
議案№1 三井楽 RC 乾燥機
取替工事について【可決】

平成二十四年度 第三回理事会
（平成二十四年六月二十七日（水）開催）

太陽と緑

五島がうまい の 立役者

NO. 27

五島から

南国の香りを

五島市玉之浦町

ふるもと
古本 耕紀さん(45)

に必要な日照時間が不足しており、バラの栽培は難しいと判断。バラの農地が空いたところに、営農指導員からマンゴーの苗木があると聞いたため、栽培を開始しました。

手探りからのスタート

いざ、マンゴー栽培を開始したまでは良かったものの、管内での前例もなく普及センター（現：地域普及課）も栽培方法がよく分からなかつ



古本さんは現在、完熟マンゴーや花き、スナップエンドウなどを主に栽培しています。

マンゴーとの出会い

古本さんが完熟マンゴーの栽培を始めたのは二〇〇〇年からで、それまでは花卉を中心に栽培を行っていました。当時法人でカーネーションとバラを栽培していましたが、栽培



たため、最初の数年間は手探りの状態が続きました。

三年目まではミツバチを入れてもうまく飛ばすことができず受粉しないうまく飛ぶことが多く、実がうまくできなかったそうです。

そんな古本さんですが、七、八年前からは安定的に収穫が行えるようになりました。残念ながら今年度は天候不順の影響を受け、収穫量は大幅に減少する予定です。

丹奈温泉がくれた恵み

もともと亜熱帯の植物であるマンゴーを育てるには温度管理がとても重要になってきます。ハウス栽培と言っても、多くの燃料を使うことになりません。しかし、丹奈温泉が近くにあり、その温泉熱を活用して作られるマンゴーはエコの時代に先行した作物と言えるかもしれません。古本さんも「温泉がなかったら採算が合わないのでマンゴー作りはしていません。全国でも温泉熱を利用してさまざまな作物を栽培しているところ

はあるが、五島のマンゴーも知名度を上げて、その仲間入りができれば」と語っていました。

五島のマンゴーをどうぞ

現在、個人向け販売や五島がうまいを中心に、主に贈答用としてマンゴーを出荷している古本さん。今年度は収穫量が少なく、すでに予約販売の受付は終了したとのこと。安心・安全な五島産のマンゴーは毎年すぐに売り切れてしまうので、直売所でお見かけの際にはすぐに購入をおすすめします。

古本さんはマンゴーの他にも、トルコキキョウやカーネーションなどの花卉、スナップエンドウなども栽培しており、今後さまざまな作物を栽培していきたいと語って頂きました。



第10回全国和牛能力共進会



長崎県代表牛選考会 五島勢の健闘光る！

—県代表に5頭選出—



本県で10月25～29日に開かれる「第10回全国和牛能力共進会」に向けた県代表牛選考会が7月7日、平戸市田平町の平戸口中央家畜市場であり、種牛の部21頭を選出。五島地区代表牛17頭のうち、5頭が長崎県代表牛の栄冠を勝ち取りました。

管内代表牛17頭は、選考会の2週間前からJ A ごとう家畜市場内にて引き運動や蹄、毛の手入れなどの準備を行い、5年前鳥取県で行われた第9回大会の悔しさをばねに、万全の準備で大会に臨みました。

当J Aの中尾弘一組合長は「五島を代表して大会に臨まれた関係者の方々の努力は語りつくせないものであり、今回代表から漏れてしまった生産者の方々も五島の代表として素晴らしい牛に仕上げて頂いた。代表となった5頭にはぜひ全国大会上位入賞を果たして頂きたい」と語りました。

(日本農業新聞 7月14日掲載)

PHOTO 紹介

- ① 気合いの入った表情の五島地区代表
- ② 2区代表 はるえ2号と野口兼幸さん(崎山)
- ③ 4区代表 ともこ号と山下松則さん(福江)
- ④ 4区代表 第5いわお号と山下勤さん(三井楽)
- ⑤ 4区代表 いくこ号と川崎純造さん(崎山)
- ⑥ 4区代表 はるみ号と山下正人さん(三井楽)



代表牛出品者 4 名にインタビュー

- ①和牛経営（牛飼い）を始めたきっかけは？
- ②和牛経営（牛飼い）の魅力は？
- ③長崎全共への思いを一言



五島市上崎山町
野口兼幸さん(52)
(名号) はるえ 2

①祖父が大の牛好きで、幼少の頃から何かにつけて牛の手伝いをして、自然と牛が家族の一員となり、畜産の道を選択した。
②一番は、子牛の評価がそのまま子牛価格に反映されること。
③全共出品のチャンスはめったにないこと。参加できることの喜びをかみしめ、はるえ 2 号の能力を最大限に引き出せるよう、努力したい。



五島市吉久木町
山下松則さん(55)
(名号) ともこ

①昔は家の中で役牛を飼っていて、牛がいるのは当たり前前の生活だった。農地を荒らさないように、現在は繁殖雌牛経営に切り替わった。
②私にとっては昔から牛が生活の一部。大好きな牛の仕事ができていたのでそれが魅力。
③長崎県代表として第 4 区で日本一を目指して頑張りたい。



五島市三井楽町
山下正人さん(53)
(名号) 第 5 いわお、はるみ

①親の代から牛を飼うのが当たり前。小さい頃からそう思っていたので。
②とにかく牛が好き。特に子孫がどんどん続いていくところを見るのが楽しみ。
③全共の舞台でロープを引いて牛を立たせるのが夢だった。上位を目指して頑張りたい。



五島市下崎山町
川崎善一さん(52)
(名号) いくこ

①両親が牛飼いをやっていたが、父が病気となり跡を継いだ。父はもっぱら牛が好きで(共進会出品)、父の生きがいのためにも、頭数を減らしてでも牛を飼うことを決めた。
②子牛がかわいいところ。高額で売買されたときの感動がたまらない。
③出品するからには一番を目指して頑張る。また、五島牛の知名度を上げるため上位をめざす。じいちゃんの夢(全共出品)が叶ったので、じいちゃんに牛を引かせます。

開催日時・場所・内容 (要注意：講義内容は変更されることがあります。)

	開催日時	場所	講師・講義内容
第 3 回	8 月 23 日(木) 19 時～21 時	J A ごとう 家畜市場	「肉用牛経営の現状」 県畜産協会 「五島地区の疾病の現状とお産について」 家畜診療所
第 4 回	9 月 20 日(木) 19 時～21 時	同上	「飼料作園場の土壌分析と飼料作付け」 地域普及課 「飼養衛生管理基準」 家畜保健衛生所
第 5 回	10 月 18 日(木) 19 時～21 時	同上	「補助奨励事業と制度資金」 農業企画課 「子牛の下痢・疾病対策」 家畜診療所
第 6 回	11 月 22 日(木) 19 時～21 時	同上	「地域(組織)づくり」 地域普及課 「口蹄疫対策」 家畜保健衛生所
第 7 回	12 月 20 日(木) 19 時～21 時	同上	「肉用牛の改良対策」 肉用牛改良センター 「早期母子分離技術」 家畜診療所
第 8 回	1 月 24 日(木) 19 時～21 時	同上	「市場対策」 J A ごとう 「牛の栄養学と飼料給与」 家畜保健衛生所
第 9 回	2 月 21 日(木) 19 時～21 時	同上	先進経営者(島外)との意見交換 外部講師
第 10 回	3 月 21 日(木) 19 時～21 時	同上	「経営診断の優良事例紹介」 県畜産協会 「放牧技術と放牧衛生」 家畜保健衛生所

肉用牛経営者のレベルアップを — 五島肉用牛大学開催中 —



「五島肉用牛大学」が七月十九日、J A ごとう家畜市場にて第二回目の講義を行いました。

今回は五島振興局、J A ごとう、生産者などおよそ一〇〇名が参加。一時間目の講義として「子牛育成のかんどころ」を池田辰也振興局地域普及課専門幹が、二時間目には「死亡事例にみる子牛の病気」と題して五島家畜保健衛生所の重國由起子獣医師が講義を行いました。一時間目では、すでに生産者に配布されている「五島子牛飼育のかんどころ」と呼ばれる飼育暦をメインに基本管理の徹底を再確認する内容の講義が行われ、二時間目は子牛の死亡事例を基に胎子の時期からの母牛の栄養管理の徹底、牛舎内の衛生管理の徹底、子牛死亡事故の予防策などの内容で講義が進行しました。

講義の終わりには質問コーナーも設けられ「育兒放棄する母牛はどうすればよいか」などの質問が飛び出しました。

同大学事務局では今後毎月第三木曜日に講義を行うが、家族経営が多い地域性を考え、家族単位での受講を呼び掛けています。

(日本農業新聞 七月二十五日掲載)



7月せり市成績表

性別	売却 (頭)	最高価格 (円)	平均価格 (円)	kg単価 (円)	平均体重 (kg)	前回比 (%)
メス	213	678,300	381,784	1,446	264	100.1
去勢	233	618,450	457,904	1,612	284	100.3
合計	446	678,300	421,640	1,536	274	100.1

全共へ向け 市場にも活気

—2012年7月期せり市—



平成24年7月期せり市

当JAは七月十三日、五島市吉久木町にある五島家畜市場で二〇一二年七月期せり市を開催。一九三戸の畜産農家が子牛四四五頭、成牛四〇頭、計四八五頭の黒毛和種を上場しました。子牛四四五頭の平均取引価格は四二一・六四〇円(前回比〇・一割高)、成牛四〇頭の平均取引価格は一六〇・三〇九円(前回比一五・九割安)となりました。当JA畜産担当者は「五島肉用牛大学の開校により、今後肉質の向上を図り、高価格の維持に努めるとともに、五島牛の全共長崎県大会での上位入賞を目指したい」と話しました。

(日本農業新聞
七月十八日掲載)

夏バテ防止に ゴーヤをどうぞ

—2012年産ゴーヤ収穫—



ゴーヤの収穫を行う船越さん
(五島市籠淵町)

管内では、家庭菜園でも「緑のカーテン」として人気の高いゴーヤが出荷のピークを迎えています。管内では昨年より三戸多い、二〇戸の栽培農家がゴーヤを栽培。収穫は五月下旬から続いており、七月上旬にピークを迎えました。二〇一二年産ゴーヤは栽培面積六五^ア、出荷量は六・五^トを計画。管内では比較的苦みの少ない品種「えらぶ」を栽培しています。営農指導などの機会に、作物自体が軽量で運搬しやすいなどのゴーヤ栽培のメリットを農家にアピールすることで面積拡大を図ります。

本年産は日照不足の影響を受け、収量は例年に比べるとやや少なめではあるものの、大きさや形も良く品質は良好。農家は早朝から収穫し、選果・選別を徹底。収穫したものは当日出荷を行い、見ためとともに鮮度にもこだわった出荷を目指しています。

本年産は八月上旬まで京阪神地方の市場へ出荷を行う予定で、同JA担当職員は「夏場の食欲増進効果や健康志向の高まりなどにより根強い人気があるゴーヤの主力夏野菜としての定着に向け、面積拡大に努めたい」と話しています。

(日本農業新聞七月十七日、
長崎新聞七月二十二日掲載)

脳の活性化で健康長寿へ

—はまゆう部会大浜地区
ミニデイサービス—



頭の体操を行う参加者

当JA女性部助け合い組織はまゆう部会は七月二十四日、大浜地区公民館でミニデイサービスを実施。参加者の笑い声が飛び交う賑やかな催しとなりました。今回は約六〇名が参加。開催にあたり藤野周一常務は「大浜地区でのミニデイサービスは初の開催。組合を支えて頂いた先輩方のために部会員がおやつなどを用意しました。本日は楽しいひとときを過ごして、これからも元気に長生きして下さい」と話しました。

参加者は恒例の頭の体操や切り絵づくりに加え、部員の手づくりグッズやお手玉を用いたゲームに挑戦。部会員は「手は第二の脳と言われるほど重要。手を動かし、新しいゲームに挑戦することで楽しみながら脳を刺激し、活性化を促すことができる」と研修で学んだことを語りました。

レクレーションでは参加者が自慢の歌声を披露したり、読み聞かせの研修を行ってきた部会員が紙芝居「鬼婆と小僧」を披露すると会場全体から拍手が起きました。

はまゆう部会ではこのような活動を積極的に行うことで、助け合い組織としての役割を果たしていく方針です。

(日本農業新聞七月三十一日掲載)

交通事故ゼロを 目指して

—交通安全対策資材目録贈呈式—



ボディバッグを受け取る
道津利明教育長

当JAは七月十八日、二〇一
二年度の交通事故対策として、
新上五島町に交通安全反射材付
きボディバッグを寄贈。新上五島町青方郷の新
上五島町役場にて目録の贈呈を行いました。
同JAでは二〇〇九年度から組合員・地域住
民が健康で安心して暮らせる豊かな環境づくり
を目指す社会貢献活動の一環として、交通事故
防止や交通事故被害者救済などに取り組んでい
ます。
昨年度は交通安全教育に必要な機材等の充実
を図るため同地区小中学校二〇校にブルーレイ
内蔵の液晶テレビを寄贈。本年度は小中学生の
交通事故防止を目的として、反射材付きボディ
バッグを寄贈しました。
今回寄贈したボディバッグは黒、赤二色と
なっており、管内全児童、生徒を対象に配布
五島市にも五月に同資材の寄贈が行われ、管内
合計で四、七一二個が児童・生徒に贈呈されて
います。
中尾弘一組合長は「自賠責共済掛金の一部を
交通安全対策積立金として造成している。積立
金は契約者に直接還元できないことからそれを
財源に交通事故防止及び交通事故被害者救済な
ど、社会貢献活動の一環として寄贈するもので
あり、有効に活用して頂きたい」と話しました。

離島農業へ 理解を深めよう

—長崎県生活研究G連絡会県大会—



直売所の商品を視察する参加者

七月十三・十四日の両日、長崎県生活研究G
ループ連絡会の県大会が五島市で開かれ、当J
A産直市場「五島がうまい」及び大津高菜加工
所などを視察しました。
このグループでは、会員の農業経営の向上、
食育指導を行う担い手女性組織として地域農業
振興に取り組んでおり、今回で五回目を迎える
本年度は離島で初めての県大会実施となるため
テーマを「離島農業へ理解を深めよう」と設定
し、離島農業の現状と取り組みを視察。五島振
興局、五島市職員、グループ会員およそ二〇〇
人が参加しました。
同加工所ではJA担当者から五島産高菜につ
いての生産から流通経路などの説明を受け、国
内産高菜漬のおよそ一五割のシェアを占める五
島の加工施設に参加者は圧倒された様子でした。
また、同直売所では参加者が五島特産の椿油
や五島牛などの商品を買って求めているという参
加者の一人は知人から頼まれていたという椿油
を「〇〇本も購入する姿も。
南島原市から参加した永川恵美子さんは「今
回の大会では離島農業の現状を垣間見ることが
できました。特に椿の植樹をはじめ、行政・市
民一丸となって地場産の振興が盛んな地域であ
る」と感じました」と感想を語りました。
(日本農業新聞七月二十六日掲載)

安全・快適な農作業を

—夏期農機自動車大展示会—



担当者から説明を聞く来場者

当JAは七月十四・十五日の両日、
夏期農機自動車大展示会を本店特設
会場で行いました。
今回の展示会について、経済部の泉井和博部
長は「天候にも恵まれ、多くの組合員に来場し
ていただいた。農機具の安全な使い方の指導を
行うとともに、利用推進を図り、農家の方々に
より安全で快適に農作業に取り組んでもらえる
よう努めたい」と話しました。
展示会場には農機具や自動車の他にも、電化
製品販売コーナーや女性部による食事コーナ
ー、青年部によるかき氷の販売もあり、家族連れの
姿も多く見られました。中でも自動車の売れ行
きは大好評でした。
また、購入者には抽選会などのイベントもあ
り、猛暑の中、多くの来場者で会場はいっぱい
となりました。
当JAでは、今後もこのような場をJAの経
済活動を広める情報発信の場として活かすこと
にも、農家がより安全で快適に農作業を行える
環境を整えることで農業振興に努める方針です。
(日本農業新聞七月二十四日掲載)



2012年バレイショ出荷反省会



当J A馬鈴薯部会は七月十八日、二〇一二年産早出馬鈴薯出荷反省会を本店で行いました。
同会では市場から安定した供給を求められている現状を踏まえ、二〇一三年産出荷分からその問題を解決すべく、二七二八[㍗]から三三二一[㍗]へおよそ五〇[㍗]の面積拡大などを協議。その他にも二〇一二年産早出馬鈴薯の出荷実績や市場情勢の報告などを行いました。

二〇一二年産早出馬鈴薯は二七二八[㍗]の作付面積で、二六九三[㍗]であつた前年産に比べると三五[㍗]の拡大。作柄については、植え付け時期に天候に恵まれたものの、十二月以降の低温や日照不足の影響を受け、生育の遅れを来した他産地との競争を回避することができず、思うような単価の伸びはなかった。しかし、今年度の市場での平均価格はまずまずで、^{*}単価は一八四円の実績となりました。

今後当J Aでは、二〇一二年産の反省点を踏まえ、新品種の導入、面積拡大を図るとともに、品質・収量を安定させ、ブランド力の強化を目指す方針です。



(日本農業新聞八月一日掲載)



2012年スナップエンドウ出荷反省会



当J Aでは七月十一日、二〇一一年作のスナップエンドウ出荷反省会を開きました。
同会には部会役員、J A担当者など二十五名が参加。出荷実績や市場情勢の報告、二〇一二年作スナップエンドウの作付計画などが協議されました。二〇一一年作のスナップエンドウについては、栽培戸数が前年対比一〇割一二戸、栽培面積も前年対比一〇八割一、〇〇四[㍗]でスタート。十二月以降低温と日照不足が続く、出荷量は厳しい結果になったものの、販売高においては^{*}単価が良く、前年対比一一八割の九五三円で販売されました。

全農ながさき園芸部の浦義文さんは「県内の二〇一一年作のスナップエンドウの発芽率は良かったが、低温、霜の被害を受けたしまった。^{*}単価的には四月まで一、〇〇〇円を超える高値で取引されたため、今後は五島産スナップエンドウの安定供給を図って頂きたい」と語りました。

同J Aでは二〇一二年作スナップエンドウの面積を一、〇〇四[㍗]から一、二二〇[㍗]とする計画を掲げるとともに、値決めによる有利販売を検討、さらに出荷規格の見直しによる輸送コストの削減を検討しています。

(日本農業新聞七月二十一日掲載)



各種出荷反省会レポート



2012年ルビートマト出荷反省会



当J Aは七月二十日、五島ルビーの植え付けを前に、同J A富江支店にて、二〇一一年産ルビートマトの出荷反省会を開きました。今年産五島ルビーは、販売量を昨年度より二、一〇〇kg伸ばし、一二二、〇〇〇kgを計画。安定した計画出荷に努め、高糖度の五島ルビーのさらなるブランド確立を目指しています。

同会にはJ A担当者、生産者、市場関係者などおよそ二〇名が参加。二〇一二年作計画のほか二〇一一年度の出荷実績報告、市場情勢の報告などが行われました。

（株）東京在原青果の甲木良実主任は情勢報告の中で「昨年十二月からの寒波等の影響もあり、出荷量が少なかった。また、トマトの健康効果がメディアで取り上げられた影響もあり、高単価で推移した。消費者のニーズも十分にあり、今後は安定出荷をお願いしたい」と述べた。

二〇一一年作については平均反収八、二二二kg（前年対比一〇八[㍗]）、^{*}単価も六〇四円（前年対比一二三[㍗]）とまずまずの実績となりました。

同J Aでは今後、値決めなどの有利販売、販促資材等の整備などを行い、五島ルビーのブランド力強化に力を入れます。



2012年ソラマメ出荷反省会



当J Aでは七月十一日、二〇一二年産ソラマメの出荷反省会を同J A本店で開きました。
同会にはJ A担当者、部会役員など約二十名が出席。二〇一二年産ソラマメの出荷実績や市場情勢についての報告や、二〇一三年産ソラマメの作付計画について協議が行われ、今年度九・一九[㍗]だった面積を一〇[㍗]で拡大する予定で。

本年産のソラマメについては、天候に恵まれ順調に植え付けをおこなったものの、十二月以降低温などの影響を受け、出荷量は厳しい結果となりました。

市場情勢については、東京青果株式会社の勝倉俊昭課長補佐は「全国的に寒波の影響を受け、ソラマメだけでなく他の野菜も出荷量が不足した。そのため関東では五島産をはじめとするソラマメの需要が高まり、前年対比一二七[㍗]という高値で推移した。今後も面積拡大と輸送コストの削減を図り、五島産ソラマメの安定供給をお願いしたい」と述べました。

(日本農業新聞七月十九日掲載)



平成24年度 JAごとう ちゃぐりんフェスタ 開催！

7月22日(日)、JA ごとう本店でちゃぐりんフェスタを開催。
保護者、児童、関係者約100名が参加し、農業への理解と参加者の
交流が深まりました。(日本農業新聞 7月28日掲載)

実施内容

- ・きゅうりの収穫体験
- ・収穫したきゅうりの調理
- ・昼食（直売所裏にてそうめん流し）
- ・ゲーム（ちゃぐりん8月号より出題）
- ・感想文発表
- ・工作（万華鏡作り）
- ・おやつ（かき氷）
- ・紙芝居（でてこい なかまたち）



そうめん流し
みんなで食べるのがいいね。



直売所見学
五島のパレイショおいしいよ！



キュウリ収穫体験
みんなでたくさん収穫しました。



ちゃぐりん8月号よりクイズ
答えはどこに載っているかな？



ちゃぐりん感想文発表
写真左から中村那南さん、中村玲奈さん、
堀田遥陽さん



工作（万華鏡作り）
みんな思い思いの作品ができました。
何が見えるのかな？



収穫したキュウリを調理
とれたてのキュウリで浅漬けを
作りました。



来年も皆様のご参加を
お待ちしております。



産直市場

五島がうまい・直送便

岐宿中学校ルビートマト学習会

—五島の農業を知ろう—

五島市立岐宿中学校の1年生13名は7月3日、当JA富江集荷所でルビートマトの学習会を開きました。

この取り組みは総合的な学習の時間を使って行われたもので、JAごとう直売部が学校と生産者の間に入ってサポート、ルビートマトを栽培する山戸徳光さんを先生に、約1時間生徒たちの質問に答える形で進みました。

ある生徒からは、栽培する上で一番大切なことはどんなことかとの質問があり、山戸さんは、光合成を促すために太陽の光が重要と答えました。また、現在富江地区だけで栽培されている同トマトを自分達の住む岐宿地区で作ることができるを知ると、「作ってみたい」などの声が上がりました。

学習会終了後には、山戸さんのハウスを見学。同中学校の塩竈憲治教諭は「自分達が普段食べている食物について、生産者の方から直接話を聞くことができる貴重な機会。10月に発表会を予定しているの、今回の学習会を通して、地域の特産品について知識を深めてほしい」と語りました。

同JA直売部では、今後も管内の学校で食農教育のサポート活動を展開する予定。

(日本農業新聞 7月11日掲載)



たくさん
の質問が飛び
出した学習会
でした。

私たちが作りました！ —高菜まんじゅう好評販売中—



安心・安全の五島
産高菜をふんだん
に使用

産直市場「五島がうまい」では五島産の高菜をふんだんに使用した高菜まんじゅうを発売中です。

このまんじゅうは永尾オキ子さんを中心とした女性3名で岐宿町楠原の作業場で毎日手作りされています。

五島産の安心・安全な高菜漬けはもちろん、皮にも工夫が凝らされており、冷めてもおいしく頂けるようになっています。

手作りのため、毎日数量限定で1パック2個入り150円で絶賛販売中です。

たべてみんね

このコーナーでは
直売所の出荷者の皆さんをご紹介します



富江支部 川本 静子さん

産直市場「五島がうまい」が始まってから1年が過ぎました。私は主にゆで干し大根、馬鈴薯、里芋、キャベツなどを出荷しています。さらに新品種などにも挑戦しています。

お客様には新鮮で安全な野菜を届けるために、農薬・堆肥作りなどに気をつけています。とれたて野菜を食べて頂いて、笑顔になってもらえたら嬉しいです。



大津支部 松下 巧さん

私の主な出荷物は、中玉・ミニトマトが中心になります。

また、時期的に9～10月頃にかけては深葱、9月下旬からは玉葱の出荷を予定していますので、ぜひお買い求めください。



ご贈答用に「五島のうまい！」はいかがですか？



五島牛 ロース・うす切
500g 3,500円～



五島牛 肩ロース・焼肉用
500g 3,000円～



五島牛 サーロインステーキ用
1枚200g 1,500円～



にこまる(五島産にこまる)
5kg入り 2,000円
10kg入り 4,000円



うんまか(五島産ヒノヒカリ)
5kg入り 2,000円
10kg入り 4,000円



五島産米食べ比べセット
2kg入り×3種類 2,500円



五島特産品詰め合わせ
五島三菜、ゆでぼし大根、糟油
3,150円



季節野菜の詰め合わせ
1,600円～



五島椿油
1本(500ml) 3,150円

その他、ギフト用商品もご予算に応じて承ります。

産直市場 五島がうまい・0959-88-9933まで お気軽にお問い合わせください。

お盆期間中の営業について

【下地区】

	一般業務	為替業務	ATM	給油所・プロパン	直売所・店舗	農機具整備	自動車整備	人工授精	J Aグリーン
8月13日(月)	平常業務	平常業務	稼働	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務
8月14日(火)	休業	平常業務	稼働	午後5時まで営業 (SS本店は午後6時まで)	平常業務	早期水稻の状況により当番対応	休業	午前8時30分まで受付分 →午前8時30分より受精 午前8時30分～午後2時まで 受付分→午後2時より受精	午後5時まで営業
8月15日(水)	法定外休日 (農協記念日)	法定外休日 (農協記念日)	稼働	法定外休日 (農協記念日) (SS本店は午後6時まで)	午後5時まで営業	早期水稻の状況により当番対応	法定外休日 (農協記念日)	午前8時30分まで受付分 →午前8時30分より受精 午前8時30分～午後2時まで 受付分→午後2時より受精	法定外休日 (農協記念日)
8月16日(木)	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務

【上地区】

	一般業務	為替業務	ATM	給油所	店 舗	農機具整備	人工授精
8月13日(月)	平常業務	平常業務	稼働	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務
8月14日(火)	平常業務	平常業務	稼働	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務
8月15日(水)	法定外休日 (農協記念日) (貯金窓口のみ営業)	法定外休日 (農協記念日)	稼働	平常業務	平常業務	法定外休日 (農協記念日)	法定外休日 (農協記念日)
8月16日(木)	平常業務	平常業務	稼働	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務

J Aごとうの 住宅ローン相談会

開催日… 8月26日(日)
時 間… 9:00～15:00
場 所… J Aごとう本店、
上五島支店

平成24年度人事異動(臨時)

平成24年 7 月 1 日に人事異動が
発令しましたので、お知らせ致します。



新 任		氏 名	旧 任	
【平成24年 7 月 1 日 発令】				
本店農産園芸部	農産園芸課長	山端 正幸	本店農産園芸部	農産課長
福江支店	営農課長	深松 繁正	本店農産園芸部	園芸課長
三井楽支店	営農課長	今利 誠	本店総務部	総務課 調査役
本店農産園芸部	農産園芸課（課長待遇）	川口 政俊	福江支店	営農課長
本店農産園芸部	農産園芸課（課長待遇）	福山 哲哉	本店農産園芸部	農産課（課長待遇）
本店農産園芸部	農産園芸課	野原 大嗣	本店農産園芸部	農産課
本店農産園芸部	農政組織課	山口伸太郎	本店農産園芸部	園芸課
本店総務部	総務課	水請 伸治	本店経済部	農業資材課
本店経済部	農業資材課	南 康德	本店経済部	J A グリーン店舗課
本店農産園芸部	農産園芸課（嘱託）	石坂 哲朗	本店農産園芸部	園芸課（嘱託）
本店農産園芸部	農産園芸課（臨時）	宮田 慎也	本店農産園芸部	農産課（臨時）
本店農産園芸部	農産園芸課 精米施設（臨時）	石田 恵	本店農産園芸部	農産課 精米施設（臨時）
本店農産園芸部	農産園芸課 精米施設（臨時）	松本 砂織	本店農産園芸部	農産課 精米施設（臨時）
本店農産園芸部	販売課（臨時）	田村 勇	本店農産園芸部	農産課（臨時）
本店畜産部	業務課 堆肥センター（嘱託）	山田 廣志	本店農産園芸部	農産課 堆肥センター（嘱託）
本店畜産部	業務課 堆肥センター（臨時）	中村 松美	本店農産園芸部	農産課 堆肥センター（臨時）
本店畜産部	業務課 堆肥センター（臨時）	藤田 友樹	本店農産園芸部	農産課 堆肥センター（臨時）
本店畜産部	業務課 堆肥センター（臨時）	花浦 裕香	本店農産園芸部	農産課 堆肥センター（臨時）
西部支店	営農課（よう員）	平山 大輔	本店農産園芸部	販売課（よう員）
本店経済部	J A グリーン店舗課（臨時）	谷川 彰久	西部支店	営農課（臨時）
福江支店	大津出張所大津 SS（臨時）	真鳥 浩樹	本店経済部	油槽所（臨時）
本店経済部	油槽所（臨時）	才津 裕隆	福江支店	大津出張所大津 SS（臨時）
本店直売部	A コープ崎山店（臨時）（主任）	中村 努	崎山支店	経済課A コープ崎山（臨時）
本店直売部	A コープ崎山店（パート）	野瀬 君菜	崎山支店	経済課A コープ崎山（パート）
本店直売部	A コープ崎山店（パート）	谷川かおり	西部支店	A コープ岐宿店（パート）
本店直売部	A コープ崎山店（パート）	南 理恵	崎山支店	経済課A コープ崎山（パート）
本店直売部	A コープ崎山店（パート）	山下はるみ	崎山支店	経済課A コープ崎山（パート）
本店直売部	A コープ大浜店（パート）	御手洗知彌子	本山支店	A コープ大浜（パート）
本店直売部	A コープ大浜店（パート）	廣山志津子	本山支店	A コープ大浜（パート）
本店直売部	A コープ本店・大浜店(臨時)(主任)	鍵原 和男	本山支店	経済課A コープ本店兼A コープ大浜（臨時）
本店直売部	A コープ本店（臨時）	小澤みゆき	本山支店	経済課A コープ本店（臨時）
本店直売部	A コープ本店（パート）	畑中 恵子	本山支店	経済課A コープ本店（パート）
本店直売部	A コープ本店（パート）	佐々野千穂子	本山支店	経済課A コープ本店（パート）
本店直売部	A コープ岐宿店（臨時）（主任）	山口 文一	西部支店	A コープ岐宿（臨時）
本店直売部	A コープ岐宿店（パート）	黒川加奈恵	崎山支店	経済課A コープ崎山（パート）
本店直売部	A コープ岐宿店（パート）	谷川いずみ	西部支店	A コープ岐宿（パート）
本店直売部	A コープ岐宿店（パート）	千代田妙子	西部支店	A コープ岐宿（パート）
【正職員採用】				
本店農産園芸部	販売課	小柳一祐基	本店農産園芸部	販売課（試用）
本店畜産部	生産指導課	増田慎太郎	本店畜産部	生産指導課（試用）

新 任 L A 職 員 紹 介

本店

共済 LA 課

橋本美代子



4 月の異動により、LA になりました。最初は自分にやれるかどうか不安でしたが、先輩 LA に学びながら、お客様のニーズに合ったプランと一緒に考え、お役に立てるよう頑張ります。皆さまのお宅に伺った際は、よろしくお願いします。

本店

共済 LA 課

田口 五徳



4 月の人事異動で、本店 LA 課に配属となりました。共済業務は初めての経験で不慣れではありますが、勉強して早くマスターしたいと思います。地域の皆さまに信頼されるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

知っておきたい熱中症対策

暑くなると「熱中症」を起こす人が増加します。
農家の方は炎天下で農作業することが多いので、熱中症には特に注意が必要です。

1 熱中症のメカニズム

私たちの体には、気温が変化しても体温を一定に保とうとする仕組みが備わっています。暑くなると体温が上がり始めると、皮膚の血流量を増やして皮膚から熱を逃がしたり、汗を多くかいて、その熱が蒸発することによって熱を逃がしたりして、体温を下げます。

ところが、長時間暑さにさらされて大量の汗をかくと、水分や塩分が不足して脱水状態になり、体内の熱をうまく外に逃がせなくなってしまうのです。すると、体に熱がこもって、さまざまな体の変調を来すようになります。

2 熱中症を予防するには

「熱中症」では、さまざまな症状が現れます。

基本的には、症状は徐々に進みますが、突然に意識障害が起これることもあり、発症したときにはすでに重症になっていることもよくあります。また、目ま

いや頭痛など、中等症までの症状は熱中症特有の症状ではなく他の病気でも起こるので、気が付かないうちに症状が進んでしまうことがあります。

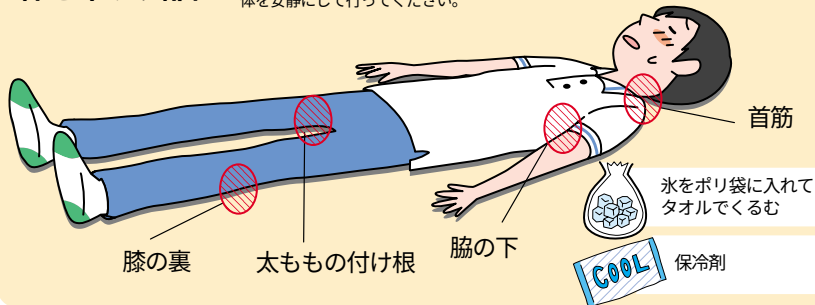
農家の人に多いのは、炎天下での農作業を長く続けたときですが、中高年の方は、屋内で日常生活を送っているときにも発症しやすいので、注意が必要です。

外での農作業は暑い時間帯を避け、早朝や夕方の方の気温の低い時間帯に行うようにします。また「つば」の広い帽子で直射日光を遮り、通気性や吸水性の良い衣服を着るようにします。

農作業中は、喉の渇きを感じなくても、水分、塩分を小まめに補給します。喉が渇いたと感じた時には、すでに脱水状態になっていることもあるからです。水分と塩分の補給には、お茶と梅干しを一緒に取るとか、ジュース、スポーツドリンクなどが適しています。ただし、アルコール飲料やカフェインを多く含む飲み物は、利尿作用があるため、水分補給には適してい

体を冷やす部位

※実際には涼しい場所で体を安静にして行ってください。



軽症 (Ⅰ度)

目まい、立ちくらみ、筋肉のこわばり、こむら返りなど。

中等症 (Ⅱ度)

頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、体がだるいなど。

重症 (Ⅲ度)

ふらふらする、立てない、意識障害など。

3 もし熱中症が疑われたら

もし屋外での農作業中に、前に書いた症状が出て「熱中症」の発症が疑われたら、すぐに作業を中止し、涼しい場所に移動し、体を冷やし、水分・塩分を補給します。

体を冷やすには、水をポリ袋に入れてタオルでくるんだものや、保冷剤などを使用します。衣服を脱がせ、ベルトを緩め、首筋、脇の下、太ももの付け根、膝の裏など、太い血管が皮膚の表面を通っている部分に当てます。

以上のことを行っても、症状が改善しない場合は、医療機関を受診します。それまで元気があった人が、暑い環境で急に具合が悪くなったときは、いつも「熱中症」のことを頭に置いておかねばなりません。

4 お年寄りには特に注意

全国十九都市の調査では、「熱

中症」を起こす場所は、年代別に見ると、六十四歳以下ではさまざまな場所で「熱中症」を起こしていますが、六十五歳以上の高齢者では、半数以上が自宅で起こしているとのこと。必ずしも暑い戸外とは限らないのです。

お年寄りは、次のような要因で「熱中症」を起こしやすいのです。一つは、体温調節機能の低下があるからです。末梢の血流量が少なくなったり、汗をかきにくくなっています。つまり熱が発散できにくいのです。

二つは、体内の水分量の減少です。筋肉や血流量の減少などによって、体全体が慢性的な水分不足の状態になっています。三つは、暑さや喉の渇きを感じにくいのです。閉め切った部屋で暑くなっても、暑さを感じにくくなっているため、エアコンを使わないで過ごしてしまいがちです。しかも喉の渇きをあまり感じなくなるので、室内の温度が上がっても、水分を十分に取らない傾向があります。

このように、お年寄りは戸外だけでなく、屋内で「熱中症」を起こすことが多いので、室内が高湿多湿にならないよう、温度や湿度、通気などにも十分注意しましょう。

旅行センター からのお知らせ



お問い合わせは…
JAごとう旅行センター
0959
(72)6211まで

島原会場へ行こう!

島原半島ジオパーク 日帰りバスツアー

「和牛の祭典いながさき」へお越しの際は、
佐世保メイン会場と島原会場を巡る日帰りバスツアーでお楽しみください。
この機会にぜひ、ご参加ください。

島原城
島原藩の居城。天守閣は、元和6年(1620)に築かれ、明治維新まで、約250年もの間、島原藩の中心地として、島原の発展に貢献しました。

佐世保城
佐世保藩の居城。元和6年(1620)に築かれ、明治維新まで、約250年もの間、佐世保藩の中心地として、佐世保の発展に貢献しました。

佐世保メイン会場
佐世保市にある、和牛の祭典いながさきのメイン会場。和牛の展示、販売、調理体験など、和牛に関する様々なイベントが行われます。

島原会場
島原市にある、和牛の祭典いながさきの会場。和牛の展示、販売、調理体験など、和牛に関する様々なイベントが行われます。

佐世保会場
佐世保市にある、和牛の祭典いながさきの会場。和牛の展示、販売、調理体験など、和牛に関する様々なイベントが行われます。

佐世保メイン会場
佐世保市にある、和牛の祭典いながさきのメイン会場。和牛の展示、販売、調理体験など、和牛に関する様々なイベントが行われます。

佐世保メイン会場
佐世保市にある、和牛の祭典いながさきのメイン会場。和牛の展示、販売、調理体験など、和牛に関する様々なイベントが行われます。

島原会場
島原市にある、和牛の祭典いながさきの会場。和牛の展示、販売、調理体験など、和牛に関する様々なイベントが行われます。

佐世保会場
佐世保市にある、和牛の祭典いながさきの会場。和牛の展示、販売、調理体験など、和牛に関する様々なイベントが行われます。

旅行実施日と旅行代金

平成24年 10月26日(金)
10月28日(日)

●旅行代金 **5,500円** (大人おひとり様)
●乗車人員/各40名(最少乗車人員:20名)
●申込金/2,000円(旅行代金に充当します。)
●申込締切日/平成24年9月25日(火)
●食事代/朝食1回
●乗車券/同行いたします。
●貸切バス/お貸しします。

株式会社 農協観光
長崎支店 ☎095(820)2271

第10回全国和牛能力共進会長崎県大会
トラベルセンター
☎095(895)7788
FAX 095(895)7787

全共長崎県大会まで一〇
〇日を切ったということで、
今月からしばらくの間は
んぢやワンにはお休みをし
てもらい、大会キャラク
ターのかさこくんを表紙
下部に掲載しています。
大会会場の一つである佐
世保市は私が学生時代を過
ごした街であり、レモン
ステーキや海軍さんのビー
フシチュー、全国区となっ

編集後記

佐世保パーガーなど牛肉を
たくさん食べる土地柄でも
あります。
今回の大会ではお笑いス
テージや、全国のブランド
牛肉の試食会、さだまさし
さんのライブなど様々な楽
しいイベントが盛りだくさ
んとなっています。
地元五島牛の活躍を応援
するとともに、こういった
イベントにも参加してみ
てはいかがでしょう。

(紙漣 諒)



産直市場
五島がうま。

住所: 〒853-0041 五島市籠淵町2450-1
電話: 0959-88-9933
FAX: 0959-88-9922
営業時間: 9時~19時
※農家レストランは10時30分~15時(予約については別途)
※土日・祝日限定バイキング 11時~15時
料金 大人: 1,000円 子ども: 500円 (小学生以下)
定休日: 毎月第1・第3月曜日(祝日の場合は営業、振替なし)

葬儀のことなら誠意と真心で奉仕する



株式会社JAごとう葬祭
斎場 浄倫会館

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町2450
TEL 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7
TEL 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955